



オリンパスの 医療分野

内視鏡事業
(Endoscopic Solutions Division)

治療機器事業
(Therapeutic Solutions Division)

オリンパスの医療分野は、消化器内視鏡、外科内視鏡、医療サービス等を扱う「内視鏡事業 (Endoscopic Solutions Division: ESD)」と消化器科(処置具)や泌尿器科、呼吸器科などの医療機器を扱う「治療機器事業 (Therapeutic Solutions Division: TSD)」に分かれます。この2つの事業から展開される多彩な製品およびサービスによって、「早期診断」、「低侵襲治療」という2つの価値を提供し、患者さんのQOL (Quality of Life: 生活の質) 向上と世界的に増加傾向にある医療コストの抑制に貢献してまいります。

早期診断

- 当社の主力製品である消化器内視鏡は、病変の発見・診断・治療の質や検査効率の向上を目指した技術を搭載することで、がんなどの消化器疾患の病変を初期の段階で発見することに貢献しています。
- また、観察中に疑わしい病変が見つかった場合には、その部位を採取して病理検査を行うことが可能です。
- 最近では、内視鏡の拡大機能により、組織を傷つけることなく、その場で拡大画像から確定診断を行える可能性も期待されています。

低侵襲治療

- 消化器内視鏡は治療用の処置具とともに使用することで、早期がんの治療をはじめとして、ポリプ切除、誤飲した異物の摘出など、さまざまな治療を行うこともできます。
- 泌尿器分野では、高齢化の進展に伴い増加が予想されている前立腺肥大症の治療機器として、切除手術なしでクリニックでも治療ができる機器を展開しています。患者さんの体内に異物が残存しない低侵襲な治療方法です。
- また、内視鏡を用いた外科手術(腹腔鏡手術)では、従来の開腹手術のようにおなかを大きく切る必要がなく、患者さんの感じる術後の痛みが少なく済むと言われており、入院期間の短縮や早期の社会復帰に貢献するなど、さまざまなメリットがあります。

拾い上げ



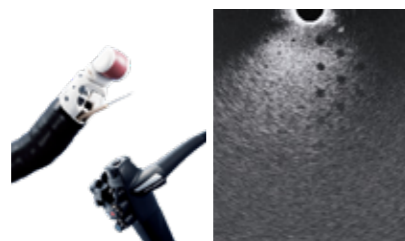
消化器内視鏡システム



診断



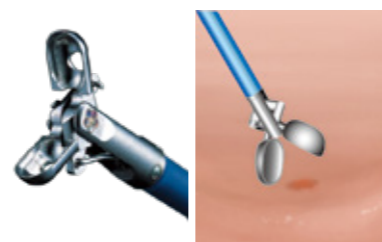
拡大内視鏡



超音波内視鏡



生検・採取



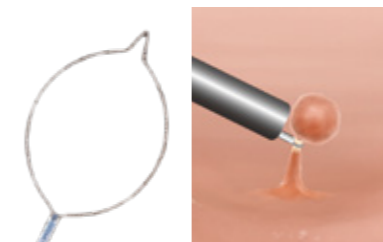
生検鉗子



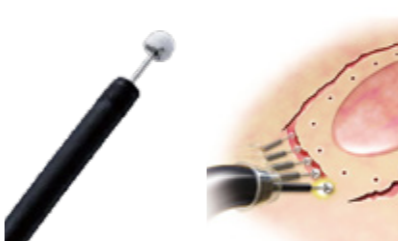
細胞診ブラシ



内視鏡治療



スネア



高周波ナイフ



内視鏡外科手術



外科内視鏡システム



外科手術用エネルギーデバイス

その他の低侵襲治療



前立腺肥大症低侵襲治療デバイス



ツリウムファイバーレーザー装置